

圏央道（千葉県区間）休憩施設調整会議 第1回開催結果概要

○日 時：令和2年3月19日(木)

（新型コロナウイルス感染症拡大を受け、会議形式を中止し、各委員に対し、事務局にて個別に説明を実施）

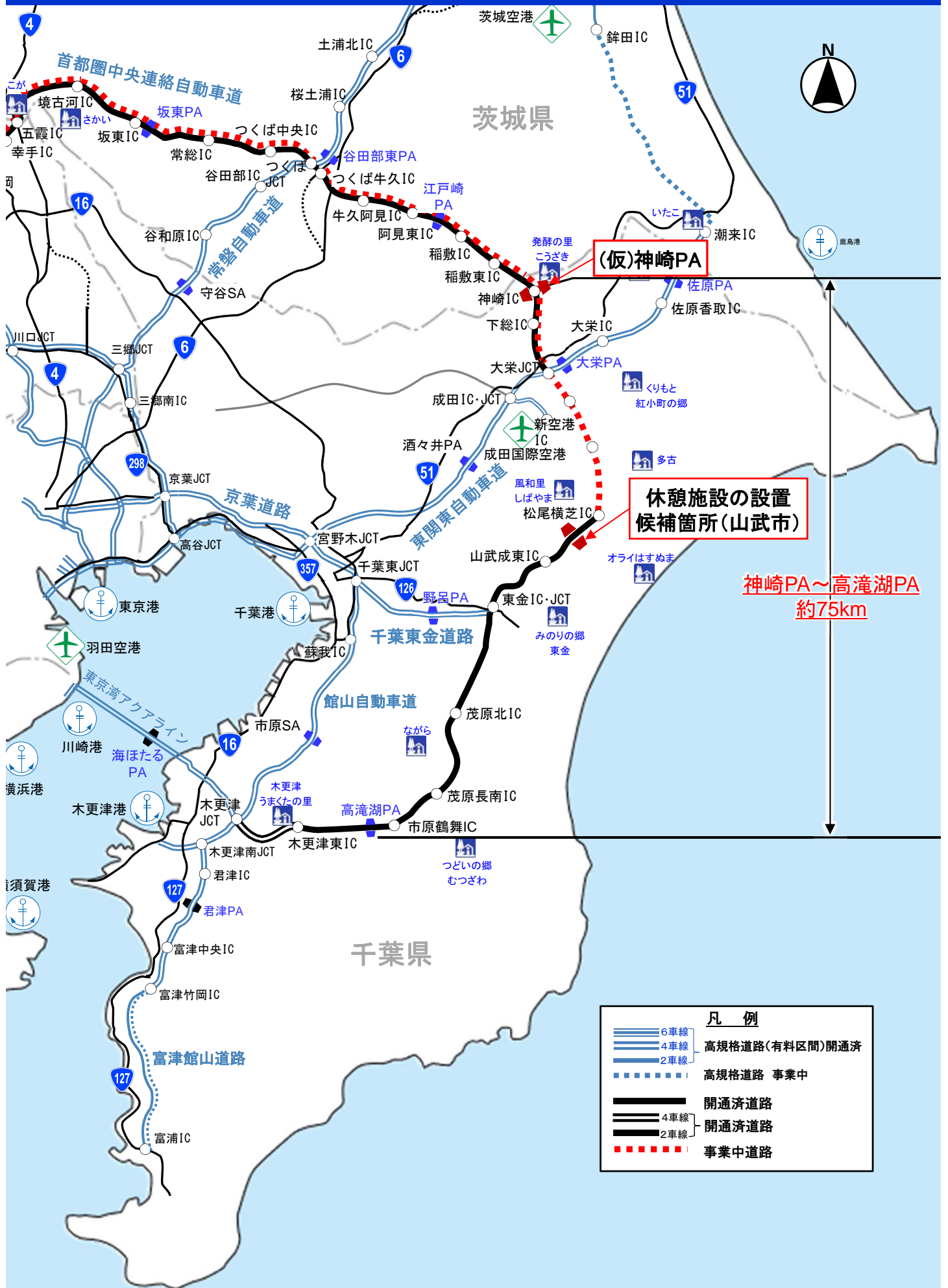
〈議事要旨〉

国土交通省関東地方整備局、千葉県及び東日本高速道路（株）関東支社の3者は、今回の調整会議において、以下のとおり意見交換及び確認した。

- 圏央道神崎IC周辺に予定されている神崎PAについては、必要な手続きを進め、道の駅「発酵の里こうざき」と連携したPAとして、圏央道の4車線化整備時期である2024年度までに整備することを確認した。
- 圏央道の千葉県区間について、神崎PA予定地から高滝湖PAの間には休憩施設が計画されていないため、計画の具体化が必要であることを確認した。
- 具体化にあたっては、休憩施設間隔のバランス、整備コスト、土地利用状況等の観点から、山武市域（松尾横芝IC～山武成東IC間）を候補箇所とすることを確認した。

以 上

圏央道(千葉県区間)



凡例	
6車線	高規格道路(有料区間)開通済
4車線	
2車線	
6車線	高規格道路 事業中
4車線	開通済道路
2車線	
4車線	開通済道路
2車線	
2車線	事業中道路

神崎PA~高滝湖PA
約75km

(仮)神崎PA

休憩施設の設置
候補箇所(山武市)